

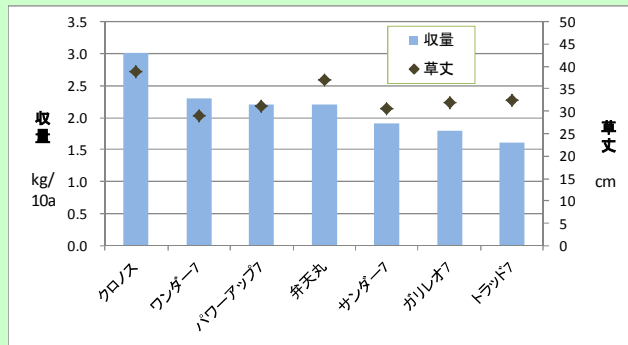
# 大きくして穫る加工・業務用ホウレンソウ

## 【背景・目的・成果】

中食・外食が増加し、野菜需要量の55%は加工・業務用となっています。加工・業務用野菜は輸入の割合が高いですが、消費者の安全・安心指向から国産の要望が高まっています。そこで、需要の増加が見込まれる加工・業務用ホウレンソウの省力・低コスト安定生産技術を開発しました。



収量が多く、姿もよいクロノス



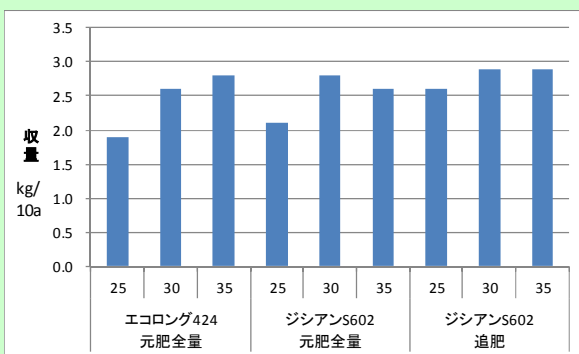
クロノスは立性で草丈も高い



40cmくらいで収穫



地上部で刈り取り収穫



施肥法と施肥量が収量に及ぼす影響  
追肥重点施用だと肥料利用効率が良い

加工・業務用としての栽培では、生食用よりも単価が安くなるため、草丈40cmの大株で収穫し、収量3t/10aを目指します。

○加工・業務用に向く品種として「クロノス」を選定しました。

○窒素施肥量は30kg/10aで追肥重点施用します。

○栽植密度は60,000本/10aとします。

○地上部で刈り取り収穫をすると、株ごと収穫して調製するより労力が軽減されます。

## 【技術の活用】

単価100円/kgとして、10a当り収量2.4t(粗収益24万円)以上あげ、労働作業180時間(労賃15万円)、資材費9万円で、収益が黒字となります。